

## 脳神経外科と漢方 投稿規定

- 本誌は、日本脳神経外科漢方医学会の機関誌として、会員相互の知的情報の交流の場、さらに優れた研究成果の報告の場を提供し、その発展に寄与することを目的とします。
- 投稿論文の研究は「ヘルシンキ宣言、動物実験の飼育および保管等に関する基準（昭和55年3月、総理府告示第3号）」あるいは各専門分野で定められた実験基準を遵守して行われたものであることが必要になります。
- 内容は原著、症例報告、総説、トピックスなどの論文を掲載します。
- 投稿論文の採否は編集委員会で決定致します。審査の結果、不採用の論文は速やかに返送致します。場合により原稿の一部改正を求めるか、または編集委員の責任において訂正することがあります。
- 英文誌への投稿を検討されている場合  
原著・トピックスなどの論文種別にかかわらず、本誌に掲載された内容を英文誌に投稿される場合には、（本誌に掲載された論文と比較して症例検討数が2倍以上となる等の例外を除き）基本的に Secondary Publication となります。予めご承知おきいただき、英文誌への投稿を優先されることをおすすめします。

### 《原著・症例報告・総説》

1. 論文の長さ、体裁は下記の通りとします。
  - 表題、著者名、所属（すべて和英併記）
  - 和文要旨（200字程度）
  - 英文抄録（原著・総説：250語程度、症例報告：100語程度）
  - Key words（3語以内で和英併記）
  - 本文・文献400字詰原稿用紙20枚（8000字）以内
  - 図・表 8個以内  
写真・図・表が増加した場合は通常原稿枚数を減じて調整してください。できあがり寸法9×7.5cmが原稿用紙1枚に相当します。
2. 論文の掲載料は上記所定の枚数以内であれば無料です。超過論文の採否は編集委員会に一任してください。超過料金に関しては著者の実費負担とします。
3. 原稿は左横書、文体は「である」調とし、専門用語以外は常用漢字、現代かなづかい（平かな）を用い、楷書体で平易明瞭に、句読点は正確にお書きください。またページ番号を必ず記載してください。
4. 文献、人名、薬品名、地名は原語を用い、ドイツ語および固有名詞以外は小文字とします。外国語は日本語化しているものはカタカナとします。
  - 1) 漢方処方名および東洋医学用語の英語表記
    - ・漢方処方名  
日本東洋医学雑誌の規定に準拠し、漢方処方名ローマ字表記法あるいは構造表記法を用いてくだ

さい。いずれも日本東洋医学会HPよりダウンロードできます。

<http://www.jsom.or.jp/medical/magazine/toukou.html>  
ただし構造表記法を用いる場合、初出時には漢方処方名ローマ字表記法を記載し、構造表記法を併記するものとしてください。

なお、生薬名は日本薬局方の「医薬品各条 生薬等」にある各生薬の英語表記を用いてください。

### ・東洋医学的用語

日本東洋医学会発行のIntroduction to Kampoを参考にしてください。

日本東洋医学会が用語及び病名分類委員会で策定中の「漢方用語集（英語対応表）」の公表後はこれを参考元とすることとします。

用語の適切な英訳を見いだせない場合にはWHO international standard terminologies on traditional medicine in the Western Pacific Region (2007)を参考にしてください。

- 2) 漢方の原典の条文を記載する場合は、本文中に原典の出典を必ず記載してください（この出典は引用文献に必ずしも記載する必要はありません）。また、原典の条文を英文で記載する必要がある場合には、参考にした英訳原典を引用文献に必ず記載してください。
- 3) 薬品名は原則として一般名を用い、商品名は一般名の後に「一般名(商品名®)」のように記載し、漢方製剤は原則として次のように記載してください。  
例：五苓散(TJ-17) 7.5g/日、分3
5. 数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm<sup>2</sup>, l, dl, ml, kg, g, mg, hr, min, sec, msecなどとしてください。
6. 図・表の説明はすべて英文表記とし、図説明は別紙にまとめてください。図・表は、1枚ずつ別に作成してください。組み写真はできるだけサイズの統一をはかり、Fig. 1A, B……などと区別をつけること。図・写真は鮮明であること。光顕写真には染色方法と倍率を付記し、電顕写真にはバーを入れてください。被写体の人格権は尊重してください。  
例外として、カラー写真での掲載を希望される場合は、必要最小限の枚数とし、また費用は著者の実費負担とします。なお、組み写真において4枚以上となる場合には原則として偶数枚数となるよう御協力ください。  
他誌、単行本の図・表などを、そのまましくは修正を加えて引用するときは、原則として著作権規定に照らした引用許可が必要です。また、出典もしくは許可のある旨を、図表説明に英文で明記してください。出版社および著者から得た許可証は原稿に添えて提出してください。
7. 文献の記載は次の形式を守ってください。  
引用順に配列し、以下の形式で記載してください。筆頭著者名のみとし、それ以上の場合“、他”

“, et al”と略します。

外国雑誌の略名は、原則としてIndex Medicusに従うこととします。

本文に用いられたもののみを引用し、引用番号を本文中に記してください。

(a) 雑誌

筆頭著者名：標題、誌名 巻：頁-頁、西暦発刊年。

例)

1) Garcia-Rill E, et al. : Posterior midbrain-induced locomotion. Brain Res Bull 24: 499-508, 1990.

(b) 書籍

筆頭著者名：標題、書名、版次、編者、出版社；発刊地、西暦発刊年、頁-頁。

例)

2) Andrezik JA, et al. : Reticular formation, central gray and related tegmental nuclei. The Rat Nervous System, Vol.2, Paxinos G (ed), Academic Press; Sydney, 1995, pp1-28.

8. 著者校正は1回のみ行います。著者校正後も、英文抄録、図表説明などについては、その一部修正を編集委員会の責任において行うことがあります。別刷を必要とする場合は初稿の時に30部単位で受け付けます。希望部数を、校正刷返送のときにお申し込みください。

9. 本誌に印刷された論文(図・表を含む)の著作権は、日本脳神経外科漢方医学会に帰属し、そのままもしくは修正を加えた引用、転載には事前承諾が必要ですので、あらかじめ御承知ください。

10. 論文受理が決定後、最終原稿と図表が入力済みのCD-R (Microsoft wordもしくは、テキストファイル保存)を送付するか、添付書類としてメールで送ってください。なお、図、表データはjpgファイル形式もしくはTIF形式とし、手札サイズで鮮明に出力できるもの(320dpi程度)を用意してください。その際、CD-Rのラベルに論文タイトル、筆頭著者名を明記してください。

11. 二重投稿に関して、以下の事項を定めます。

- ① 著書・研究会のproceedings・商業誌などの如何を問わず、また欧文であっても、その1部に多少の変更や追加があっても、基本的に同一内容であれば、『原著形式または症例報告』の場合には、二重投稿とみなし、掲載を許可しないこととします。
- ② 以前に雑誌に掲載された図表については、転載承諾の得られたもの以外はそのままでは用いないください。
- ③ 二重投稿とみなされる恐れがある論文を投稿する場合には、前の論文のコピーを添付してください。判定は編集委員が行います。

## 《トピックス》

- 学術集会等で発表された漢方治療に関するトピックスを中心に、編集委員会からの依頼に基づいて執筆される原稿です。会誌への掲載に際して査読審査を行います。

- 著作権は日本脳神経外科漢方医学会に帰属しますが、著者自身が本誌に『トピックス』形式で掲載された論文等を複製、翻訳、翻案する場合、本会は異議の申し立てなどの妨げをしません。

1. 論文の長さ、体裁は下記の通りとします。

- 表題、著者名、所属(すべて和文、英文併記)

[英文抄録・和文抄録・Key wordsは不要です]

- 本文・文献400字詰原稿用紙10枚(4000字)以内

- 図・表4個以内(説明文は和文表記)

2. 本形式での論文にはその性質上、以下の場合が想定されますのでご留意のうえ適宜ご対応下さい。

- ① すでに他誌にfull paperが掲載されている、あるいは掲載が決定している論文をトピックスとして今回投稿する場合

- ◆ 本誌掲載の際、脚注として、すでに他誌に掲載されているあるいは掲載が決定しているfull paperが存在する旨を明記させていただきますので、投稿の際、① 共著者、② 論文タイトル、③ 誌名、④ 巻数、⑤ 発刊年、⑥ ページ数、を明示し該当箇所のコピーを同封下さい。

- ◆ 図表の再使用については、先行の刊行物の著作権保持者の許可がとれた際には再使用可能とします。その際は出典箇所を(筆頭著者名、発刊年)を明記して下さい。

- ② 将来他誌にfull paperとして投稿する場合

- ◆ 二重投稿に抵触する可能性に配慮し、図表についてはfull paperへの掲載をご優先頂くなど、まったく同一のものにならないよう適宜ご対応下さい。

- ◆ 二重投稿については、投稿先での判断に委ねられます。抵触する可能性が懸念される場合、必ず投稿先にお問い合わせ下さい。

3. 他の要領については《原著・症例報告・総説》の項目に準じます。

### 【原稿送付先】

『脳神経外科と漢方』編集部

株式会社マイライフ社

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-1-5

エールプラザ戸山台105

TEL: 03-5291-9002 FAX: 03-5291-9003

jnkmm@mylife-tokyo.co.jp